

「第2期仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況について

まちづくり政策局

1 概要

「第2期仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、まち・ひと・しごと創生法に基づく国の総合戦略を踏まえ地方創生の取組の推進を目的に令和3年3月に策定したものである。当該戦略は、令和3年度から5年度を計画期間として6つの基本目標を掲げ、各事業の進捗について数値目標やKPI（重要業績評価指標）の客観的指標による評価・検証を実施している。

2 令和5年度末時点での進捗状況

(1) 6つの基本目標と対応する数値目標の進捗状況

6つの基本的目標のうち、4つが未達となったが、他の2つはおおむね目標を達成した。
詳細は別紙1のとおり。

(2) 国の交付金を活用した事業の実績

令和5年度は、第2期総合戦略に関連する事業において、地方創生に関する国の交付金（デジタル田園都市国家構想交付金）を活用した。各事業は成果・進捗目標として複数のKPIを設定している。詳細は別紙2のとおり。

新規3事業 (計画期間：令和5～7年度)	3事業ともKPIを達成した（実績値が未確定のものを除く）。2年目以降も、目標達成に向けて着実に事業を進めていく。
継続7事業（2年目） (計画期間：令和4～6年度)	4事業については、KPIを達成した。他の3事業については、一部KPIを達成できなかつた。目標値達成に向けて必要な工夫を行い、3年目の事業に取り組んでいく。
継続4事業（3年目） (計画期間：令和3～5年度)	3事業については、KPIを達成した。他の1事業については、一部KPIを達成できなかつた。

●「第2期仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における
6つの基本目標と対応する数値目標の令和5年度末時点の進捗状況について

基本的目標 ①	地域経済の中心である中小企業を活性化し、 魅力ある「しごと」をつくります。	基本的方向	(1) 地域企業の成長促進 (2) ローカルビジネスの持続性向上・活性化 (3) Society5.0を実現するイノベーションの促進 (4) 新型コロナウイルス感染症へ対応した地域経済の再生と変革			
数値目標	指標		基準値	目標値	進捗状況 (前年度比)	
	■ 集中支援対象企業		H29年度 7社	R1～5年(累計) 50社	R1～5年(累計) 66社 (+13社)	
■ 本市の事業により生まれた域内の企業間取引件数		H29年度 71件	R1～5年(累計) 400件	R1～5年(累計) 541件 (+95件)		

基本的目標 ②	仙台の魅力を創出・発信し、交流人口の拡大 と地域経済の活性化を図ります。	基本的方向	(1) 国内外からの旅行者の誘客促進・発信力の強化 (2) 地域特性を活かした多彩な観光資源の発掘・創出 (3) 東北全体の交流人口拡大に向けた広域連携の強化 (4) 新型コロナウイルス感染症へ対応した観光振興			
数値目標	指標		基準値	目標値	進捗状況 (前年度比)	
	■ 仙台市内の宿泊者数		R1年度 624万人	R5年 624万人	R5年 600万人 (+123万人)	

基本的目標 ③	仙台で学んだ若者が住み続け、東京圏からも人・起業を呼び込む、新たな「ひと」の流れをつくります。	基本的方向	(1) 都心再構築プロジェクトの推進 (3) 起業・創業への積極的な支援 (3) 若者等の地元定着と多様な人材の活躍の促進		
			基準値	目標値	進捗状況 (前年度比)
数値目標	■ 本市誘致による進出企業数	R2年度	H27～R1年度(年平均) 27件	R3～5年(累計) 100件	R3～5年(累計) 74件 (+24件)
	■ 大学生等の地元定着率		42.2 %	R5年度 50.0 %	R5年度 39.2 % (△1.4pt)

基本的目標 ④	希望する方が安心して結婚、出産、子育てできる社会の実現に取り組みます。	基本的方向	(1) 切れ目のない子育て支援 (2) 地子育て応援社会の実現 (3) 子どもたちの安全・安心確保 (4) 子どもたちの未来が広がる教育環境づくり		
			基準値	目標値	進捗状況 (前年度比)
数値目標	■ 保育需要に対応した保育施設などの利用定員数	R1年度	R2年度当初 21,823人	R5年度当初 23,324人	R5年度当初 23,266人 (+181人)
	■ 安心して子育てができる社会づくりを評価する市民の割合[※]		46.7 %	R5年度 50.0 %	R5年度 42.5 % (+2.9pt)

※「仙台市市民意識調査」において、安心して子育てができる社会づくりに関する設問に対し、「評価する」「どちらかといえば評価する」と回答した人の割合
R1年度調査による基準値とR5年度調査による進捗実績は、それぞれ以下の設問を用いて算出している。

- ・R1年度調査：「保育施設等の整備や幼稚園の預かり保育の実施、延長保育・一時預かりの充実等、子育て家庭を応援する社会づくり」
- ・R6年度調査：笑顔咲く子どもプロジェクトに関する3つの施策に対する設問(平均値)

「ICTを活用した教育や職場体験など、子どもたちの挑戦する力を育てる教育や、学校・家庭・地域みんなで育てる環境づくり」

「少人数学級の推進や不登校児童の支援、特別支援教育の推進など、子どもたちの個性に応じた成長の機会づくり」

「子ども・子育てに関する相談・支援、保育や子どもの遊びの環境の充実など、子育てを楽しめる環境づくり」

基本的目標 ⑤	豊かな自然環境と防災・減災への取り組みが調和した、持続可能でしなやかな「まち」をつくります。	基本的方向	(1) 仙台防災枠組の推進 (2) 地域防災力の向上 (3) 脱炭素・資源循環型都市づくり (4) 新型コロナウイルス感染症対策 (5) 自然を活かしたしなやかな都市基盤の形成
数値目標	指標	基準値	目標値
	■ 市内の温室効果ガス排出量	H25年度 911 万t _{-CO2}	R12年度 593 万t _{-CO2}
	■ 災害対応や防災対策について評価する市民の割合 [※]	R1年度 61.6 %	R5年度 65.0 %
			R4年度(速報値) 708 万t _{-CO2} (△29 万t _{-CO2})

※「仙台市市民意識調査」において、災害対応や防災対策に向けた本市の取り組みに関する設問に対し、「評価する」「どちらかといえば評価する」と回答した人の割合

R1年度調査による基準値とR5年度調査による進捗実績は、それぞれ以下の設問を用いて算出している。

・R1年度調査：「地震や集中豪雨等の災害への対応体制や防災対策の強化」

・R6年度調査：「東日本大震災の経験を踏まえた防災・減災に関する情報発信や、地震や大雨、火災などの非常時の体制の整備」

基本的目標 ⑥	地域特性に合わせ、誰もが安心して暮らし、活躍できるまちづくりを進めます。	基本的方向	(1) 機能集約型の都市づくりと中山間地域や海辺等の地域づくり (2) 地域の暮らしを支える基盤づくり (3) 多様な主体が活躍できる社会づくり (4) 都市経営基盤の強化
数値目標	指標	基準値	目標値
	■ 仙台市が住みやすいと思う市民の割合	R1年度 92.3 %	R5年度 94.0 %
	■ 仙台市に住み続けたいと考える市民の割合	R1年度 88.7 %	R5年度 90.0 %
			R5年度 90.6 % (△0.1 pt)
			R5年度 86.4 % (+0.1 pt)

●デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を活用した
事業の令和5年度実績について

別紙2

1 仙台・東北連携による域内循環及び交流人口拡大戦略再構築事業【新規】

計画期間	令和5～7年度	担当課	文化観光局東北連携推進室	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	28,218千円
事業概要	仙台・東北の交流人口拡大を軸とした地域の持続可能性確保に向け、東北の自治体等との連携体制を再構築するとともに、仙台を起点とした東北域内循環の促進による地域経済の活力の還流と、広域連携での域外誘客の強化に取組む。				
令和5年度の 主な取組	東北の自治体との連携体制構築に向け、東北の全市町村を対象にアンケート及び東北観光経験者を対象とした東北の観光実態に関するアンケート調査を実施した。 ・アンケート調査の結果や動態データの分析をもとに、東北観光における有力コンテンツや東北の自治体の連携意向や主要ターゲットを把握し、オウンドメディアにてモデルコースを計33本造成したほか、首都圏でのプロモーション活動や旅行商品造成を行った。 ・多くの自治体が主要ターゲットに挙げた本市中心部での魅力発信イベントを開催した。				
△ ①	指標	当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	① オウンドメディア等のPV数	0PV	30,000	144,476	481.6 %
	② 東北の魅力発信拠点等の累計利用者数	56,677人	58,566	83,963	143.4 %
	③ 本市と連携する東北の自治体数	0自治体	10	29	290.0 %

2 南部拠点・長町「賑わいの交流拠点」形成促進事業【新規】

計画期間	令和5～7年度	担当課	太白区長町地域活性化推進室	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	16,878千円
事業概要	本市の南部拠点地域(長町地区)において、日常的に賑わいや交流が生まれる「歩いて楽しい街並み」の形成を目指し、歩行空間や空き店舗の活用の検討を行う等まちの将来ビジョンの作成に向けた取り組みを地域との協働により進めるとともに、官民連携の推進会議立ち上げを図る。				
令和5年度の 主な取組	商店街エリアにおける地元ビジョンの作成に向け、地域で活動する団体や商店街振興組合、周辺住民等による勉強会やシンポジウム形式の報告会の実施及びJR長町駅西口広場の活用等による試行実験など、まちづくりに精通した専門家による商店街エリアの基礎調査や勉強会・報告会、試行実験の企画運営を実施した。				
△ ①	指標	当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	① 商店街地区で行う試行実験の来場者数	0人	500	1,500	300.0 %
	② 商店街地区で行う試行実験の回数	0回	1	2	200.0 %
	③ 商店街地区の商店街組合会員数	224会員	3	5	166.7 %
△ ④	④ 仙台市営地下鉄長町一丁目駅、長町駅及び長町南駅並びにJR長町駅の乗車人数の増加率	100 %	0	(※)	- %

※仙台市地下鉄の前年度乗車人数の公表時期が10月以降となっているため、現時点では把握できていないもの。

3 泉中央地区活性化事業【新規】

計画期間	令和5～7年度	担当課	泉区泉中央地区活性化推進室	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	9,810千円
事業概要	民間主体の協議会の立ち上げや泉6大学の学生を主体としたワーキンググループの開催等を通じて、地域の一体感創出を図り、泉区役所建替を契機とした泉中央地区の賑わい創出に向け、回遊・滞留の仕掛けづくりや将来ビジョン策定に取組む。				
令和5年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学生参加によるワーキンググループを実施し、泉中央地区を拠点に活動する団体と連携し、まちづくりの実践を行った。 ・地域の商工事業者を招いた意見交換会を開催し、地域主体のビジョンの検討やエリマネ組織の設立に向けた検討を行った。 ・泉中央エリアまちづくりミーティングを開催し、事業の進捗状況を市民にお知らせするとともに、アンケートなどの手法で参加者からの意見を収集した。 				
KPI	指標	当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	① 泉中央地区の主要な賑わい創出イベントの来場者総数	76,000人	7,600	13,800	181.6%
	② 地下鉄泉中央駅の乗降者数	7,506,148人	225,184	646,528	287.1%
	③ 泉中央地区人口数	9,708人	150	160	106.7%
	④ 区民広場、泉中央駅周辺(おへそひろば・ペデストリアンデッキ)、七北田公園において実施された賑わい創出イベント数	107件	5	7	140.0%

4 東北六市連携による伝統的夏祭りを活用した交流人口拡大プロジェクト【2年目】

計画期間	令和4～6年度	担当課	文化観光局東北連携推進室	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	仙台市 10,000千円
事業概要	夏祭りを入り口とし、旅行目的地としての東北を浸透させ、来訪を促進する。東北の六祭りを中心に、各地の風土や自然、食等に広がりを持たせて文化・観光の魅力として発信し、スタンプラリー等も実施することで、東北域内在住者を含めた周遊を促す。				
令和5年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・観光物産プロモーションでは、東京都(なかの東北絆まつり、歌舞伎町タワー)及び大阪府(御堂筋ランウェイ)で計3回イベント出演及び観光PRを行った。 ・デジタルスタンプラリーを7月から9月の3か月間実施し、2,414人の方に参加いただいた。 ・夏グルメや街歩きスポットなど季節の記事を年間36本掲載したほか、WEB広告による周知広報を行い、195,262件のPV数を得た。 ・旅行商品造成については、六市の夏祭りを体験できるコンテンツを6本作成し販売を行った。 				
KPI	指標	令和5年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	① 東北の県庁所在地六市(青森市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市) 延べ宿泊者数	12,491,000人泊	30,000	(※)	—%
	② 夏祭り(青森ねぶた祭、盛岡さんさ踊り、仙台七夕まつり、秋田竿燈まつり、山形花笠まつり、福島わらじまつり)入込数	5,454,000人	180,000	1,161,000	645.0%
	③ 観光物産プロモーション実施回数	2回	2	3	150.0%
	④ スタンプラリー参加者数	2,279人	1,000	135	13.5%

※地域経済分析システム「RESAS」における宿泊者データが未更新のため、現時点では把握できていないもの。

5 仙台市スマートシティ推進事業 【2年目】

計画期間	令和4～6年度	担当課	まちづくり政策局まちのデジタル推進課、プロジェクト推進課	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	88,110千円
事業概要	まちづくりにおいてより効果的にデジタル技術を活用するため、スマートシティの枠組み導入を進める。また、スーパーシティ構想をはじめとし、地域の強みや課題に応じた各エリアの取組みを有機的につなげることでスマートシティを実現し、その取組を市内や東北地方に横展開することを目指す。				
令和5年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> データ連携基盤の更なる利活用に向けて、データプラットフォーム準備協議会において他都市の事例研究や利用に係るルール等の整理を行った。また、データ連携基盤を活用した新しいサービスの創出を目指す実証事業を実施した。 仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会では、東北大学や民間事業者と連携のもと、デジタル田園都市国家構想交付金等を活用しながら、複数分野のデータ連携による先端的なサービスの創出と実装に取り組んだ。 				
指標	令和5年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度	
KPI	①データを活用したサービスの実証実験および実装件数	3件	6	6	100.0 %
	②本事業により創出したサービス登録者数	335人	250	1,056	422.4 %
	③市民ポータル(仮)の利用者数(※)	0人	0	88	— %

※当該交付金で構築することとしていたが、デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)を活用し、当初の予定より早く構築することとなった。

6 販路開拓エコシステムの推進による地元中小業成長促進事業 【2年目】

計画期間	令和4～6年度	担当課	経済局中小企業支援課	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	17,250千円
事業概要	新型コロナウイルスの影響による市場環境の変化や販売機会の減少に苦しむ地元中小企業に対して、域内外の関係機関が各々の強みを活かし連携して、販路開拓を支援することで、地元企業の成長を促す。				
令和5年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 協力事業者を中心に、BtoB、BtoCそれぞれの観点から、中小事業者同士が各々の強みを活かし連携して取引先を拡大すること目的とした取り組みを実施した。 首都圏展示会出展による販路開拓事業として、東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2023へ6社、スーパーマーケットトレードショー2024へ6社の出展支援を行った。 				
指標	令和5年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度	
KPI	①本事業を通じた商品・サービスの売上額	18,000千円	30,000	67,634	225.4 %
	②本事業を通じて増加した商談件数	0件	150	388	258.7 %
	③本事業を通じて増加した域外実店舗の売場獲得箇所数	0箇所	30	32	106.7 %
	④本事業で支援した延べ事業者数	0事業者	120	230	191.7 %

7 世界の災害リスク・気候変動リスク低減に貢献するBOSAI-TECHビジネス実証実装支援事業 【2年目】

計画期間	令和4～6年度	担当課	経済局産業振興課 危機管理局危機対策課	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	81,023千円
事業概要	「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」を進化・発展させ、「防災・減災・気候変動×テクノロジー」分野のビジネスアイデア創出、実証実験、社会実装、市場展開までを一体的に実施することで、参画企業の継続的な成長支援と産業面から世界の災害リスク低減に貢献する。				
令和5年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォームを通じて、国内外の企業が参加する事業開発プログラム・ビジネスマッチング、実証実験支援を実施した。 ・仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォームへの参画の呼びかけを行った。 				
指標	令和5年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度	
① 本事業を通じたBOSAI-TECHに関連する新たな製品・サービスの開発件数(プロトタイプを含む)	70 件	30	31	103.3 %	
② 本事業を通じてBOSAI-TECHに関連する新たな事業開発及び事業規模拡大に着手する企業数	107 件	20	30	150.0 %	
③ 本事業を通じた新たなBOSAI-TECHに関連する実証実験の件数	27 件	14	18	128.6 %	

8 「Capital of Social Innovation : SENDAI」の実現に向けたソーシャル・スタートアップ・エコシステム構築事業 【2年目】

計画期間	令和4～6年度	担当課	経済局スタートアップ支援課	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	74,998千円
事業概要	国内外の社会課題解決に資するビジネスを創出するスタートアップ・エコシステムの形成促進のため、首都圏等の多様な人材向けの情報発信やマッチング機会の創出、支援人材の誘致等を通じ、ソーシャル・スタートアップが仙台・東北地方から持続的に産み出され、成長できる環境を構築する。				
令和5年度の 主な取組	首都圏等域外から多様な人材を呼び込むための情報発信や首都圏等の人材とソーシャル・スタートアップとのマッチング機会の創出支援を実施した。				
指標	令和5年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度	
① 本事業を通じて生み出されたソーシャル・スタートアップコミュニティ参加者数	1,076 人	1,300	1,686	129.7 %	
② 本事業を通じて生み出されたプロボノマッチング数	6 件	12	15	125.0 %	
③ 本事業を通じて生み出されたスタートアップ支援拠点利用者数	134 人	130	1,005	773.1 %	

9 人口の創出・拡大に向けた「農」や「食」を軸とした情報発信コンテンツ創出事業【2年目】

計画期間	令和4～6年度	担当課	経済局農業振興課	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	16,798千円
事業概要	前身事業で得られた農業施策上の成果を新たに観光施策と連携させ、「農」や「食」を軸とした情報発信と、その素材となる新たな商品やサービスの創出の支援をあわせて行い、誘客促進や域内経済循環の拡大、ひいては関係人口の創出・拡大を図る。				
令和5年度の 主な取組	<p>・6次産業化や農商工連携等の取り組みへの支援や、ホームページ・SNSでの情報発信、生産から流通・販売までを見据えたビジネスモデルの構築として仙台産「今朝採り枝豆」の飲食店・量販店提供を行った。</p> <p>・8月は仙台産農産物を使用する飲食店を巡るスタンプラリーの開催、11月は1か月間を「とれたて仙台」地産地消月間として東北の情報発信拠点施設で特別メニュー提供などのイベントを開催したほか、多様な関係団体と連携し、全市的な事業展開を図った。</p>				
II	指標	令和5年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	① インスタグラムでのハッシュタグ「#とれたて仙台」投稿数	913件/年	50	704	1408.0 %
	② 6次産業化施設における従業員雇用者数	51人/年	6	5	83.3 %
	③ 新商品開発件数	3件/年	3	4	133.3 %
	④ 6次産業化訪問相談件数	19件/年	8	5	62.5 %

10 サステイナブルツーリズム推進事業【2年目】

計画期間	令和4～6年度	担当課	文化観光局観光課、東北連携推進室	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	44,984千円
事業概要	ウィズコロナ・アフターコロナの都市間競争を見据え、地域一体となって交流人口拡大に向けた戦略やエリア別ブランディングを推進する体制を構築するとともに、仙台・東北の地域資源を活かした魅力的なコンテンツの造成とプロモーションの強化に取組み、持続可能な観光地域づくりを実現させる。				
令和5年度の 主な取組	<p>・地域との連携体制構築のため、デジタルマーケティング推進、交流人口ラウンドテーブルの設置を実施した。</p> <p>・戦略的な情報発信のため、体験型プログラムの実施や観光情報サイトにおけるAIチャットボット運用を実施した。</p> <p>・ナイトコンテンツ造成や東北のローカルツーリズム推進等、コンテンツの充実のための施策を実施した。</p>				
II	指標	令和5年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	① 経済波及効果	124,906百万円	42,423	77,188	181.9 %
	② 秋保地域における人口の社会増減数	△ 25人	15	25	166.7 %
	③ 消費拡大額	14,922千円	18,359	16,690	90.9 %
	④ 宿泊者数	1,132,622人泊	1,482,819	1,237,382	83.4 %

11 先端テクノロジーを活用したSDGsビジネス実証支援事業【3年目】

計画期間	令和3～5年度	担当課	経済局スタートアップ支援課	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	6,854千円
事業概要	東北のSDGs関連の社会・行政課題に対し、大学の研究成果を活用した解決策を募集し、企業や地域住民、行政関係者による施策開発品実証と改善に向けたプログラム提供を行い、製品実用化を加速させるとともに、起業人材とスタートアップの呼び込みを図る。				
令和5年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の研究成果を活用して起業を目指す大学等の研究者や学生に対して、短期集中支援プログラムを実施し、ビジネスプランのブレッシュアップや顧客候補となる企業等へのインタビュー、実証実験等のサポートを行った。 ・過年度プログラム採択者に対して、事業化に向けたハンズオン支援やイベント等への出展機会を提供し、起業に向けた支援を行った。 				
KPI	指標	令和5年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	① 大学の研究成果やICTを活用し、SDGsの17のゴール・169のターゲットに対応した課題解決ビジネス創出数	14件	20	10	50.0 %
	② 本事業によって生み出されたサービス利用者数及び実証実験への地域住民の参加数	145人	200	182	91.0 %
	③ 本事業を通じたSDGsに取り組む民間企業、自治体、大学等教育機関等との連携数	13件	10	9	90.0 %

12 「AI-Ready都市・仙台」の実現に向けたAI関連ビジネスエコシステム構築事業【3年目】

計画期間	令和3～5年度	担当課	経済局産業振興課	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	63,600千円
事業概要	Society5.0の時代を見据え、先端IT技術を活用した新事業創出、地域ビッグデータを活用した医療・介護産業とのX-TECHによる事業共創、高度IT人材の育成支援等の一体的な実施により、地域IT企業による新ビジネス創出と継続的な成長を目指す。				
令和5年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業におけるAI等を利活用した新ビジネス創出/既存ビジネス高度化に向けて、経営層向けハンズオンセミナー、ワークショップ、メンタリングプログラム、ビジネスコンテスト等を実施。並行して、AI等を活用できるジェネラリスト人材及びプロダクト開発できるエンジニア人材の育成に向けて、資格取得に向けた学習プログラム等を実施した。 ・ウェルビーイング領域におけるユースケース創出に向けたコンソーシアム構築、ビジネス開発プログラム等を実施した。 				
KPI	指標	令和5年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	① 本事業を通じたAIに関連する新たな製品・サービスの開発件数(プロトタイプを含む)	74件	38	43	113.2 %
	② 本事業を通じてAIに関連する新たな事業開発及び事業規模拡大に着手する企業数	36社	23	26	113.0 %
	③ 本事業を通じて育成されたAI人材人数	222人	150	157	104.7 %

13 デジタルで人と地域をつなぐオンライン観光等推進事業【3年目】

計画期間	令和3～5年度	担当課	文化観光局東北連携推進室	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	16,964千円
事業概要	地域の多様な魅力を体験できるオンラインツアー及びそれと連携したリアルツアーを実施し、地場産品の消費拡大、東北のファン創出による交流人口拡大に繋げるとともに、東北の観光案内所のネットワーク化を進め、周遊促進に向けた受入体制の充実を図る。				
令和5年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインツアー及びそれに連携したリアルツアーの実施について、前年度に引き続き、市場調査、関係者を対象とした研修会を実施した上でツアー造成や、それに向けた体制を構築するとともに、ウェブサイト及びSNSで「オラツー東北！」として情報等を発信、認知拡大及びツアーへの参加促進を行うとともに、オンラインツアーを44本造成し、8,070回視聴された。併せて実際に現地に行けるリアルツアーを、31本造成し、644名が参加している。 ・観光案内所のネットワーク化については、東北等の34地域42ヶ所の観光案内所のネットワークの維持による観光案内所同士の情報共有に継続して取り組むとともに、観光案内所スタッフのスキルアップ及び他地域の観光情報の取得を目的とした研修会を開催し、広域観光情報の提供に継続して取り組んだ。 				
指標	令和5年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度	
① オンラインツアー参加者数	2,865人	1,200	1,601	133.4 %	
② 東北の観光案内所のネットワーク化事業参画案内所利用者数	2,020,316人	240,000	833,934	347.5 %	
③ オンラインツアー数	53件	40	44	110.0 %	

14 仙台都市圏インバウンド戦略再構築事業【3年目】

計画期間	令和3～5年度	担当課	文化観光局誘客戦略推進課	事業規模 (令和5年度交付対象事業費)	44,000千円
事業概要	デジタルマーケティングにより、コロナ禍で変化する旅行者のニーズや動向を捉えたインバウンド施策を展開し、併せて、従来の「地域(都市)への誘客」から「テーマ・ストーリー別の誘客」への転換を進め、仙台都市圏への誘客と経済活性化を目指す。				
令和5年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的プロモーションの実施として、本市がインバウンド誘客の重点市場と位置づける台湾・タイを中心に旅行博や現地イベントへ出展したほか、アフターコロナにおいて成長が見込まれる欧米豪市場へのプロモーションを行った。また、旅行消費額の増加を見据え、中華圏の春節の時期に合わせ、消費拡大キャンペーンを行った。 ・受入環境の充実を図るためベジタリアン・ヴィーガン・ムスリムの受入環境整備を実施した。また、市内の宿泊・交通事業者や観光関連施設等を対象に外国人観光客対応力向上セミナーを実施したほか、インバウンド対応力向上に向けた事業者支援を実施した。 ・観光コンテンツの発掘・磨き上げのため、域内の体験コンテンツを活用しインバウンド向けに旅行商品の造成・販売を行った。 				
指標	令和5年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度	
① 訪日外国人観光消費額(宮城県)	(※1) 億円	92.0	(※2)	－ %	
② 市内外外国人宿泊者数	34,303人	70,000	304,256	434.7 %	
③ 訪日外国人向け観光情報サイト「DISCOVER SENDAI」年間閲覧数	225,208 PV	80,000	120,949	151.2 %	

(※1)新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光庁における訪日外国人消費動向調査が実施中止等となつたため、都道府県ごとの数値が公表されないこととなったことから、実績不明。

(※2)訪日外国人観光消費額(宮城県)は宮城県によって毎年公表されており、その公表時期が10月以降となっているため。